

野口みずきが金



日本が女子マラソン連覇

女子マラソンで金メダルを獲得し、笑顔でゴールする野口みずき＝パナシナイコ競技場（共同）

【アテネ二十一日共同】アテネ五輪第十日の二十二日、陸上女子マラソンで、野口みずき（26）が2時間26分20秒で金メダルを獲得した。前回シドニー五輪の高橋尚子に続く優勝で、日本勢が五輪2連覇を達成した。マラソン発祥の地で、日本の新エースが最高の走りを見せた。

野口は27キロすぎからスパート。2位の前世界記録保持者キヤサリン・ヌデレバ（ケニア）の追い上げをかわし、逃げ切った。

昨年の世界選手権で銀メダルを獲得し、いち早く五輪代表を決めた野口は、初の五輪で世界の強豪を抑えた。

今五輪の女子マラソン代表選考は、高橋が落選して大きな話題となった。しかし、野口の快走

で日本女子は4大会連続のメダルを手にし、あらためて層の厚さを示した。メダル獲得は1992年バルセロナ銀、96年アトランタ銅の有森裕子から4大会連続となった。

開始時の気温が30度を超す暑さの中、82選手が午後6時（日本時間二十三日午前0時）にスタートした。日本勢は野口、坂本直子（天満屋）土佐礼子（三井住友海上）の3人がそろって中盤まで先頭集団につけ、野口は27キロ過ぎでスパートをかけて独走。世界選手権優勝のキヤサリン・ヌデレバ（ケニア）の追い上げをかわして逃げ切った。

ヌデレバが2位、ディナ・カスター（米国）が3位。土佐は5位、坂本は7位だった。